

想像から  
創造へ



くろだ ゆり  
講師 **黒田 百合**

劇・あそび・表現活動 Ten seeds代表 / 劇団夢宇人(むうにん)主宰



劇団四季演劇研究所第20期。日本演出者協会会員(社会包摂部)。石川県在住。  
2000年より石川県内高校の非常勤講師を歴任し、2003年金沢市民芸術村ドラマ工房ディレクター就任。障がいのある子と健常児との舞台「風の又三郎」上演を機に社会福祉法人佛子園が建設したアートセンター「エイブルベランダbe」にて、ドラマワークショップや公演を定期開催。2008年より岐阜県可児市の市民ミュージカルや小学校、乳幼児、高齢者などのワークショップを継続。北海道では多様な人々との舞台制作など、各地でさまざまな応用演劇活動を行なっている。

いま、応用演劇は、演劇以外の教育や福祉の場で活用されています。なぜなら、演劇が持つコミュニケーションやイメージーションは、どこの現場でも有用だからです。子どもたちはごっこ遊びの中から、他者との関わりを学び、関係性を構築していきます。障がいの特性を理解すれば、彼らとの関わりの中から、作品を創ることができます。多様な社会も、想像力やちよつとの寄り添いがあれば、もっと豊かになるのではないのでしょうか?モノの見方を変えたり、新しい気づきを体感する・そんな時間をみんなで共有しませんか?



## 演劇の可能性シリーズ

# 応用演劇は誰もが気軽に楽しみつながるアートです

知る・体験する・感じる

講義 + 体験

応用演劇は演劇のさまざまな要素を活用した、誰もが気軽に楽しめる表現活動の総称です。言語・身体表現、集団による創作などの活動を通して想像力を刺激し、コミュニケーション能力などを高める効果があるため、さまざまな目的・課題に合わせて、欧米では学校教育を中心に、福祉、医療、更生施設、また企業などで活用普及が進んでいます。

### 応用演劇ワークショップ

## 「みんなでつながる 演劇のチカラ」

人が出会い、関わり、つながり、その人らしく豊かに生きるチカラを生み出す応用演劇。その実践例を知って、体験もできる、3時間の充実ワークショップです!

講師黒田百合さんは、金沢に拠点を置き劇団活動を行いながら、全国を飛び回り、さまざまな地域で応用演劇を実践しています。地元では教育現場や社会福祉法人佛子園の「ごちゃまぜ」なまちづくりとして障がい者との定期活動に取り組み、岐阜県可児市では公共劇場を中心とした地域共生の推進に携わり、現在は、自身も経験した能登震災における災害支援などでさまざまな社会課題に向き合い活動を続けています。

気になった方はどなたでも! ぜひ演劇の可能性を心と体と頭で体感しにきてください。



主催団体  
**All Alive Project 埼玉**  
アープス  
(AAPS)って?

すべての人がその人らしく輝き、ともに生きる豊かな社会の実現に貢献することを目的に、応用演劇の活用と普及を目指して活動する任意団体です。誰でも気軽に参加できる応用演劇ワークショップを定期開催しています。

Web : <https://aaps.jimdosite.com/>  
Blog : <https://aaps2017.blogspot.com/>



Blog